

第 1 回 伊良湖岬中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成28年11月29日 (火) 19時00分～20時25分
場所	渥美文化会館
出席者	委員 (22名) 河合哲志、牛田久美夫、山本晴樹、河合博之、岡田成人、小久保智子、田中秀一、加子裕美、山本嘉寛、真野多正、小川道夫、宮川敏彦、渡邊尚之、大谷 稔、川口裕美子、井本奈央、松田政春、河合道博、河合正人、小川眞知子、久瀬正弘、小林 琢 事務局 (8名) 花井教育長、大根教育部長、三竹教育総務課長、鈴木学校教育課長、大羽企画部企画課長、小久保渥美支所地域課長、伊藤教育総務課長補佐兼係長、宮嶋教育総務課主任
欠席者	鈴木正三委員
傍聴者	なし
事務局	開会
教育長	あいさつ 皆さん、こんばんは。だんだん寒くなりまして、師走も間近でお忙しい中、お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。 先週の新聞で、学校再編の見直しとのタイトルが大きく出まして、私自身も少しびっくりしたところがございますので、説明を少ししたいと思います。 私としては、伊良湖岬中学校、泉中学校の統合先、統合年度が決まったものですから、学校再編に向けての話し合いは一段落したと、こういうように考えています。市長定例記者会見の際に記者から質問が出たものですから、一段落したと答えたものです。今後の学校再編の動きとしては、今までの計画をそのまま進めるのは難しいのではないかとということで、見直しやら修正を加えながら、関係地区の皆さんと一緒に、子どもたちのためにどうするかを考えていったらいいかなということで、今、思っていますが、また、これについては教育委員会、総合教育会議を含めて進めていきたいなと思います。 本日は、第1回伊良湖岬中学校統合準備委員会ということで、伊良湖岬中学校区だけではなく、福江中学校区の皆さんにも入っていただいて、コミュニティの会長さん、PTA役員さん、学校の先生にもお集まりいただいて、第1回目の会議を持てることを、大変恐縮しながら、ありがたいなと感じております。 平成31年4月の福江中学校のスタートに向けて、本日から話し合いを始めていきますので、いろいろと話し合ったり、調整したり、相互理解を図ったりということで大変にお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。 きょうは大変ありがとうございます。
事務局	委員紹介…自己紹介 (資料1) 事務局紹介
事務局	統合準備委員会について (資料2-1、2-2により説明)

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-1 伊良湖岬中学校統合準備委員会設置要綱 ・資料 2-2 伊良湖岬中学校合準備委員会専門部会設置要領
事務局	協議事項に入りますけれども、委員長が決まるまでは、事務局にて進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。
事務局	<p>委員長選出</p> <p>協議事項 1 委員長の選出について議題とさせていただきます。</p> <p>設置要綱第 5 条の規定によりまして、委員長は、委員の互選によるとなっておりますが、御意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>指名推薦ではいかがでしょうか。</p> <p>私は、和地地区のコミュニティ協議会の河合哲志さんを推薦したいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。</p>
事務局	和地地区コミュニティ協議会長の河合委員を委員長にという御意見が出ましたが、皆さん、御異議ございませんか。
	(異議なし)
事務局	<p>異議なしと御発声をいただきましたので、和地地区コミュニティ協議会長の河合委員に委員長をお願いいたします。</p> <p>ここからは、委員長に会議の進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	こういった取りまとめは余り経験がありませんが、皆さんの協力を得て、一生懸命務めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
委員長	<p>副委員長の指名</p> <p>協議事項 2 副委員長の指名について、設置要綱第 5 条の規定により、副委員長は、委員長の指名によるとなっておりますので、きょう欠席ではありますが、清田校区コミュニティ協議会長の鈴木正三さんをお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。</p>
	(異議なし)
委員長	<p>異議なしとの御発声をいただきましたので、清田校区コミュニティ協議会長の鈴木正三さんに副委員長をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、設置要綱第 7 条の規程により、専門部会の部会長は、委員長が任命することになっておりますので、部会長の任命をしたいと思います。</p> <p>地域部会の部会長は、伊良湖岬中学校長松田先生にお願いします。</p> <p>P T A 部会の部会長は、福江中学校教頭小林先生にお願いします。</p> <p>教育課程部会の部会長は、福江中学校長久瀬先生にお願いします。</p> <p>通学体制部会の部会長は、堀切地区コミュニティ協議会長の牛田さんをお願いします。</p> <p>以上のように部会長を指名したいと思います。御異議ございませんか。</p>
	(異議なし)
委員長	異議なしとの御発声がありましたので、皆さん、よろしくお願いいたします。

	次に、協議事項 3 これまでの経緯と今後のスケジュールについて、事務局の説明をお願いします。
事務局	(資料 3-1、資料 3-2 により説明) ・資料 3-1 伊良湖岬中学校再編整備方針について ・資料 3-2 伊良湖岬中学校統合準備委員会等スケジュール
委員長	説明が終わりました。何か御質問はございませんか。
委員	資料 2-1 の設置要綱第 4 条の任期についてです。P T A 役員は平成 29 年 3 月までで、4 月以降かわってしまうのですが、任期についてはどうなりますか。
事務局	委員の任期は、統合するまでの平成 31 年 3 月 31 日までの期間としています。P T A の皆さんは役職等で選出されており、来年度以降のメンバーや、本年度の方に何人かは残っていただくようにするのかなど、今後検討していきたいと思っております。
委員	必ずしも現状の名簿のまま平成 31 年 3 月まで引き続きやるわけではないですね。
事務局	はい。
委員	わかりました。
委員長	設置要綱を読むと、全員そのまま残っていくようにも読み取れるので、学校側でも、校長先生、教頭先生もかわられると思いますし、コミュニティのほうでも同じだと思います。
委員	今、役職でと言われたのですが、伊良湖岬小学校については、今回、P T A 会長、副会長、会計という形で出ているのですが、和地、堀切、伊良湖の各地区から出る形で進めていきたいと思っておりますので、役職ということだけではなく、伊良湖岬小学校については三地区から出るということを御承知おきください。
委員長	メンバーはかわるかもしれませんが、地域から出すようにしたいとのことですね。
事務局	済みません。役職と言いましたけれども、充て職ということでお願いします。
委員長	ほかに何か質問はありますか。
委員	伊良湖岬小学校の委員選出の考え方について意見があり、地域を考慮したいとのことですが、伊良湖岬中学校も同じ考え方ですか。
委員	いえ、そういう考え方はありません。
委員長	充て職とのことで、次年度、かわられる方もかなりいると思うのですが、統合準備委員会の継続性も考えて、先ほど課長が言ったように、多少残ってもらうような方も出るかと思えます。ただし、委員の人数が 30 名以内となっており、それを超えないような形で人選するという意味ですか。
事務局	必要に応じて、委員の人数が超えた場合は、要綱の変更を考えていきたいと思っております。
委員長	臨機応変に統合準備委員会の構成メンバーを考えていくようにお願いします。 ほかに御質問はありますか。
委員	資料 1 の一番下、「必要に応じて関係者を招集する」とありますが、必要に応じてとはどういった場合がありますか。

事務局	<p>「必要に応じて」とは、例えば、今、PTA会長さん、副会長さんなどに統合準備委員会の委員として出席していただいておりますが、ほかのPTA役員さんで、こういった統合準備委員会や、各部会での検討の際に、統合準備委員会のメンバー以外の役員さんなどに、専門部会の検討協議に加わってもらうことも考えております。</p>
委員長	<p>例えば、PTA部会なら、統合時の学年のPTAさんを入れる可能性があるということですね。</p> <p>式典行事として、閉校式典がありますけれども、閉校式典については、同窓会組織があるので、同窓会に任せたらどうかとか、そういう検討もやっていければと思っています。</p> <p>ほかに御質問がありますか。</p>
委員	<p>地域部会の部会長です。地域部会で進めていく中身がいろいろありますが、それぞれ個別なものが多いので、地域部会のメンバーを全員招集するのではなくて、小回りがきくように、こちらで人選して、この人に話し合ってもらおうというように声をかけて進めていきたいと思えます。</p> <p>時には必要に応じて、先ほど言われたみたいに、この統合準備委員会のメンバーではない方にも出てもらうことがあるということで、少なかったり多かったですので、よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>部会については、必要に応じて開催をお願いします。</p> <p>ほかに何か御意見はありますか。</p>
委員	<p>伊良湖岬小学校の統合の際には、伊良湖小学校、堀切小学校、和地小学校の校区会長さんも苦勞したと聞いています。また今回も伊良湖岬中学校が統合ということで苦勞されると思えます。私の願いとしては、福江中学校に少しお金をかけてもらって立派な中学校に施設面を含めてしてほしい。あの学校ならすばらしいと地域の人から言われるような学校にしてほしいと思えます。</p> <p>もう一つは、通学路に関しても、今、福江中学校の子は渥美総合体育館へ自転車で走っているのですけれども、少し不安があります。自転車で通っている高校生もいますし、それから、恐らく堀切の数人は自転車で中学校へ通ってくるのではないかと思います。事故が起きてからでは遅いので、地域の通学路の整備も含めて考えてほしい。</p>
事務局	<p>最初は、原則、スクールバスでの通学を考えています。通学路につきましては、保美から堀切の県道を含めて、建設企画課で整備などの予算も含めて考えている最中です。市長からも、伊良湖岬中学校も泉中学校も、なるべく早目に通学路の整備をするようにとっております。ただ、なかなかすぐにはできないので、時間はかかると思えます。最初は、スクールバスでの通学を考えていますので、お願いいたします。</p>
委員	<p>今の関係で、資料3-2に、通学体制部会の検討が平成29年度4月となっているのですけれども、これをすぐにでも始めていかないと、道路のこと、いろいろなことが出てくると思えます。このスケジュールについては、修正しておいたほうがいいのかと思えます。</p>
委員長	<p>事務局、どうですか。</p>

事務局	参考にさせていただきます。
委員長	今までの伊良湖岬中学校統合検討委員会やそれ以外でも、通学路のことが話題になり、コミュニティ会長、議員とで市といろいろな相談などをしたこともありますが、福江校区の方と話し合うことは、なかなかできませんでした。今後は、情報交換などもしながら、伊良湖岬中学校の生徒を受け入れてもらわなければならないので、よろしくをお願いします。 ほかはどうでしょうか。
委員	P T A 部会の部長ということでお願いされました。先ほど P T A の方からの意見を聞きまして、例えば、P T A 部会を開催する場合には、どのような段取りとなりますか。
事務局	部会を開く日をあらかじめ決めていただいて、部会長さんか、こちらのほうで案内を出すようにしたいと思っています。
委員	例えば、場所も相談してということですか。
事務局	場所は、例えば、学校でやれることもあるかと思えますので、どこでやるかは相談させていただきたいと思えます。
委員	わかりました。ありがとうございます。
委員	通学体制部会の部会長です。スケジュールとしては、2 年余の予定です。例えば、平成 29 年度に最終検討して 3 月で終わって、次の平成 30 年度に契約と書いてありますが、道路とかは統合までに間に合うのですか。
事務局	スケジュールの契約等とは、スクールバスの話です。スクールバスについては平成 31 年 4 月からの運行にあたり、平成 30 年 9 月か 10 月くらいには契約をして準備をしていきたいと思っています。 道路関係については、できることとできないことがあると思えます。例えば、これは一つの例ですけれども、グリーンベルトをつくるということだったら、平成 30 年度くらいでいいかもしれませんし、大がかりな歩道までとなってくると難しいことも出てくるかと思えます。
委員長	そのほか何かありませんか。
委員	福江中学校の久瀬です。 まず、専門部会が四つあり、一人で二つ、三つ。一人で四つ全て入っている方もみえます。最初は、スタートがばらばらだと思うのですが、近づいてくると頻繁に行われてくる可能性もありますので、日程調整等は事務局で調整していただいて、場所等も確保していただくほうが、うまくいくのではないかと思います。
事務局	調整をとりながらやっていきたいと思っています。
委員	もう一点よろしいですか。 教育課程部会として、即やらなければならないことがあります。現在の伊良湖岬小学校 6 年生が中学 3 年生のときに統合となります。どのように中学校 3 年間を過ごすかということもあるのですが、中学 3 年生で夏の大会を迎えるので、来年 4 月の伊良湖岬中学校の部活動入部時から、先を見据えた入部計画が必要になるかと思えます。

	<p>そのためには、伊良湖岬中学校、福江中学校の入学説明会が2月初めにありますので、それまでには部活動と服装について、ある程度の方向性を定めて、新1年生が困ることのないように、早速、教育課程部会について始めさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>今までの伊良湖岬小学校の統合の際には、「ゼロベースで住民の皆さん、考えてください」みたいな投げかけがあり、協議をするに当たって、何も無いところから、住民の意見を吸い上げるというやり方が多かった気がします。今は、ある程度伊良湖岬中学校の統合にあたって、作業部会の内容についても、ある程度たたき台ができていると思うのですが、どうですか。</p>
事務局	<p>例えば、スクールバスについて、どうするかというところはあります。</p>
委員	<p>そうした案を先に出してもらって進めた方がスムーズだと思います。</p>
事務局	<p>スケジュール表にも各部会の作業内容の概要が書いてございます。あとはそれぞれもう少しずつ細かいことは出てくるかと思えます。</p>
委員	<p>まず、市から提案をしてもらって、それについて、委員で協議する方法の方がスムーズのような気がします。</p>
事務局	<p>ある面、ケース・バイ・ケースかなとも思います。例えば、スクールバスの契約予定時期の目安がありますので、それに向けて進めていきたいというのはこちらから提案できますけれども、例えば、先ほどの閉校式については、どなたが主体でやっていくかというようなところは、部会長さんの御意見にもあったように、事務局から案を出すというより、部会の委員さんで協議して方向性を決定していくものもあります。中学校同士で決定していくものもありますし、教育委員会で、案を出せる場合と出せない場合があります。そういうことでPTAなどの各部会に分けて、部会長さんや委員の皆さんからも提案をいただいて、詳細について協議したいと思っています。</p>
委員	<p>話をいろいろ聞いていると、行政は、部会に任せるといような感じを非常に受ける。そうではなくて、行政も一緒になってやっていかないと、これから進めるのにみんな不安だと思う。</p> <p>例えば、野田中学校の統合もすでにやっている。行政は、野田の部会での検討内容はわかっているわけだから、それがたたき台の最初になると思う。全部が伊良湖岬中学校の統合に当てはまるとは私は言わないけれども、そういう資料を出しながら、部会のほうで検討してもらおうようにした方がいい。事務局としてはどうですか。</p>
教育長	<p>スケジュール表をもう一度ごらんください。内容的に学校間でやっていただくもの、あるいはPTA間でやっていただくもの、それから、行政がしっかり入ってやらなければいけないものと、仕分けができるかと思えます。</p> <p>例えば、地域部会の中で、閉校式から一連のものを見ますと、これは伊良湖岬中学校校区でやってもらいまして、経過をこの統合準備委員会で御報告いただく。</p> <p>二つ目のPTA部会につきましては、小学校も中学校もPTAはそれぞれありますので、これはPTAが中心になりますが、教頭先生方がリーダーシップをとってやっていただく部分ですので、ここに教育委員会が何か言うよりは、PTA相互の話し合</p>

	<p>いで何とかまとまっていけるのではないかなと思っております。</p> <p>それから、教育課程部会につきましては、交流事業、学校行事、服装、持ち物、部活動ということですので、伊良湖岬中学校と福江中学校、伊良湖岬小学校から子どもたちが上がっていきますので、これは小学校、中学校間でお互いに意見交換する中で、どうしていくかというのが決まってくるかなと思います。</p> <p>通学体制については、市のスケジュールもあり、当然、野田中学校の統合の際にやったことが勉強になっておりますので、これを最大限生かしながら、めり張りをつけて、わかりやすく、皆さんに心配を与えないように進めていきたいと思っております。今の御意見をこういう機会に出していただいて、できるだけ具体的に、会の意義が深まるようにやっていきたいと思っております。</p> <p>部会につきましても、皆さんをいつも集めては大変ですので、教頭先生が中心になって部会の下準備、例えば、PTA部会でしたら、少しいろいろな案などをつくっておいて、部会へ出していただくということで、できるだけスムーズな部会運営ができるような試みを何とか進めていけたらと思っております。誰がリーダーシップをとっていくかということも、実際に動いていけませんのでまだ机上の論議ですが、動いていく中でも出てくると思っておりますので、いろいろな面で不満等もあったら、その声を事務局に寄せていただいて、できるだけ円滑な運営ができるように進めていけたらと思っております。</p> <p>私自身も、野田中学校と田原中学校が一緒になるときに、私、田原中学校の校長で、実は非常に不安がありました。やっているのは、ある意味、野田中学校がいろいろなところで準備をして田原中学校へ行くということでした。私は田原中学校の校長として、一人で野田中学校統合準備委員会に参加した経験もありますので、今回、こうやって福江中学校区の皆さんと伊良湖岬中学校区の皆さんも一緒になって、お互いにわかりにくいところ、それぞれの立場もありますので、ぜひこの統合準備委員会がそれぞれの調整がうまく図れる場になったらと思います。野田中学校の経験はあるものの、野田中学校と田原中学校の統合と、福江中学校と伊良湖岬中学校の統合は少し統合の仕組みが違いますので、また私どもも一生懸命勉強したいと思っておりますので、いろいろな面で御意見をいただいてやっていけたらと思います。</p> <p>もう一個言いますと、野田中学校の統合では、1年半くらいの中で統合に向けた準備をやってきました。今回の福江中学校と伊良湖岬中学校の統合の場合は2年半ありますので、野田中学校のときよりは、もう少ししっかり調整をしながら進んでいけるのではないかなと思いますので、不安に思った部分はどんどん出していただいて、そういうものをできるだけわかりやすく説いて、皆さんで共有しながら進めたらいいかなと思います。いろいろな意見を出す中で進めていけたらと思いますので、忌憚のない御意見をお出しただけいたらと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
委員長	田原中学校と野田中学校の統合のときにも、同じような形の部会だったのですか。
事務局	はい。
委員長	こちらとしても、野田校区コミュニティ協議会長と会う機会があったら、コミュニ

	<p>ティ会長に、統合準備委員会とは別個の資料や感想があったら聞いておきたいと思っているので、事務局もよろしくお願いします。</p>
事務局	はい。
委員長	ほかに、何かありますか。
委員	<p>先ほどの話に少し補足です。伊良湖岬小学校の統合のときに、先ほど言ったように、何もないところから、「住民同士で議論をしてください」というスタートだったように感じます。結局、みんながそれぞれ好きなことを言って、最終的に「結局、自分の意見は通らない」という不満がすごく出た気がしました。</p> <p>結局、いろいろな意見を言わせておいて、最終的には市から独断で決定されたり、急に新聞ですっぱ抜かれたり、そういうことがあったので、今回の福江校区の方たちとお互いに好きなことを言って、遺恨が残るようではいけないので、きちんと市からまずガイドラインを示して、意見を聴くほうがいいのではないかと私は思ったので、少し発言させていただきました。</p>
事務局	ありがとうございます。
委員長	部会運営の際は、案があったほうが良いということですね。
委員	私はそう思います。
委員長	ほかに御意見ございますか。
委員	<p>通学体制部会の通学路の安全対策についてお願いします。</p> <p>伊良湖岬小学校の統合のときに、スクールバスのルートが決まり、バス停が決まったところで、子どもたちの通学路が変わっていきました。横断歩道の設置や、いろいろな要望を上げていったときに、ここは県道だから、市道は市でやれる、国道だからという話もあり、愛知県公安委員会の会議が年に何回かあって、それを通らないとやれないこともあると耳にしたような気がします。</p> <p>通学路の安全対策とありますが、道路によって、かかわってくるところが当時全然見えてなくて、警察で話をしたり、市へ話をしたり、道路によって手続が随分違うと感じましたので、その辺を少し情報提供してもらいたいです。通学体制部会の通学路に関しては、バスのルート、バス停が決まらないと次へ進んでいけないというところがありますので、手続のことだけは少し早目に情報提供していただけるとありがたいのではないかなと思います。お願いします。</p>
事務局	わかりました。
委員長	ほかにありますか。
委員	<p>昨年、私は、亀山子ども会の会計をやらせていただきました。非常に人数が少ないものですから、西山子ども会と一緒にやったほうが楽しいのではないかとということで、一緒に行事を行いました。そうすると、子ども 1 人当たりの予算額が違うので、今までやっていたことのクオリティーが違いました。同じビンゴゲームでも、いいものがもらえる、こちらは安い。それを一緒にしたときに、結局、両自治会の下部組織に当たるので、1 人当たりにかかるお金を一緒にすることはなかなかできませんでした。そうすると、今回の行事は少しお値打ちな感じでやりましょうという、やはり</p>

	<p>西山の子たちは、「去年は、いろいろな景品があった」という不満が出た。その逆をすると、亀山は喜ぶのですけれども、どうしても平均をとっていくので、西山の子たちからすると、どうしても不公平がとも出ました。</p> <p>統合にあたり、統合までの話は、すぐくされているのですが、統合した後の子どもたちのことを考えたときに、「統合してよかった」と。例えば、「お金をかけて、中学校がよくなった」「統合して入ったら、福江中学校はきれいだからよかったね」と思ってくれたという、生徒たちはとても喜ぶと思うので、やはり目に見えてよさを感じないと、通学路がよくなっても、横断歩道ができて、子どもたちは直接喜ばないと思う。</p> <p>だから、単純にまず子どもたちが、「統合されてよかった」と喜べば、親御さんは、「よかったね」となる。統合までも大事ですが、統合後、例えば、3年間、特別的な予算を福江中学校にいただいて、その予算は子どもたちを喜ばせるようなことに使えるような、統合されてからのお金の使い方が考えられているのか。それは、お願いしたらできることなのか、無理な話なのか、そういうことが可能なのか、考えていらっしゃるのか、その辺を教えていただきたいなと思います。</p>
委員長	予算的な面はいろいろあるかもしれないですけども、事務局、どうですか。
事務局	実は、ことしの予算も結構厳しくて、昨年と比べて12%減の状況です。予算面などで特別に配当したいという思いはありますが、現実的にできるかということ、今の財政状況から考えると難しいです。
委員長	施設の更新は難しいかもしれませんが、細かいことで、行事に対する補助などをまた考えておいてもらえませんか。
委員	実は私もそういう意見です。学校が一つ減るということは、人件費も減るので、人件費などが浮いてくる。それをぜひ、田原町ばかりではなくて、渥美町のほうもよくしてほしい。
委員長	そういうことも検討材料の一つとして、またお願いしたいと思います。
事務局	そうですね。
教育長	例えば、伊良湖岬中学校、泉中学校が統合していくと田原市内は4中学校になっていきます。泉中学校が赤羽根中学校へ行くときに、赤羽根中学校の校舎は中学校の中では一番新しく、校舎は約10年。東部中学校は結構頑丈な校舎です。田原中学校も、古いながらもしっかりできている。福江中学校の場合は、真ん中の教室棟が平成元年頃にできているのですが、周りの校舎は非常に古い。できるだけ早い時期に何とか古い部分については、できたらと思っておりますが、これはいろいろ予算との相談があるものですから明言はできませんが、気持ちとしては、そういう面でもう少し、地震・津波も含めて、何か新たなことはできないかなという希望は持っているのですが、その辺は、細かい行事について、話し合いの中で、これはどうしても予算をつけてほしいなというようなことでうまく話がまとまれば、予算をつけることも不可能とは言いませんので、何とかそういうようになるようにいい話し合いができればと思います。声を出さないとわからないところですので、今まで、学校教育に対する要望が余

	<p>りたくさんあっても、出せば出すほど受け入れられるというものでないのですが、やはり声を出さないことには始まっていかないものですから、ぜひ御意見を出していただいて、こういう機会にみんなで考え合っていくということは大事なことかなと思います。</p> <p>こちらもそういう気持ちを受けとめながら進めていく覚悟です。</p>
委員	<p>福江中学校との統合をよりよいものにしていこうということで、夢と希望のある統合を考えています。子どもたちが喜んで入ってもらうためには、学校としてできることは、行事や、仲よく一緒に勉強する、部活動が充実することだと思います。</p> <p>その一方で、今回、専門部会の比重が大きいのと思う。専門部会で一生懸命考えたことが、結果的にお金がないからできません、それは無理ですとなると、先ほど言われた形になる可能性があるものですから、今すぐとは言いませんが、やはり統合に向けて、行事に対する予算、例えば、一緒に部活動をやるためにバスが出ますとか、会場は優先的にとりますとか、そういう配慮をある程度出していきたいです。それにのっかって、予算やバスが使えるから、その間にこういうことをやってみようとか。何もなしのところから行くのもいいのですが、実際に具体的な部分を決めていくときには、やはり予算的な措置がある程度見えていないと、本当に絵に描いた餅になってしまいます。時間も無駄になってしまいますので、一回一回の部会が充実したものになるためには、そういった支援が必要だと思います。</p> <p>事務局も、これはこの会の事務局であって、専門部会の事務局ではない状態で進んでいます。だから、先ほど私が言ったように、全部部会長が決めてやるのかとか、記録まで全てとっておくことが必要と考えたときに、専門部会に事務局として事務をやっていた方が入ることが、この2年半の中で大事なことはないかと思いません。ぜひ御検討をお願いします。</p>
委員	<p>教育長の見解はどうですか。</p>
教育長	<p>予算を先に確保してやっていくのは、すぐには少し難しいかなと思います。</p> <p>来年度、どういうことができるかを具体的に話し合う中で、次の年度に、これやるのでこういうような予算になるという段取りかなと思います。</p>
委員	<p>校長先生が言ったように、検討して絵に描いた餅になってしまえば困るので、できるだけ行政もバックアップをするよと言ってほしい。</p>
事務局	<p>先ほど教育長が言いましたとおりですけれども、今、将来に向かってどうだということとはなかなか難しいのですけれども、我々としても、先ほど校長から話があったように、当然事務局として、バックアップというよりも、全面的によりよい統合を進めていく側でありますので、案や、可能な限り、検討していただくものも当然あると思いますし、予算的な部分につきましても、できる限り対応していきたいと思っています。あとは査定側ともよく調整をしながらやっていきたいと思っています。</p> <p>道路のお話もございました。道路になると地権者の方もおみえになりますから、一朝一夕にできる話ではありません。ただ、進めていくことには変わりはありませんし、先ほど課長からもありましたけれども、市長からも建設部に進めるよう指示がされて</p>

	<p>おります。これも県の予算等もあって財源に限りある中で、いかにやっていくのか。先ほど福江校区会長さんがおっしゃった、統合によって浮いてくる部分の予算があるだろうというお話。県全体では当然あると思いますので、そうした部分をいかにこちらがとりに行くか、そうしたことはなかならうかと思ひますし、校長からおっしゃっていただいたこともしっかり受けとめながら対応してまいりたいと思ひております。ただ、校舎はすぐというわけにはなかなかいきません。校舎の更新計画も考えていかなければいけないと思ひておりますから、それをどの学校をどういうタイミングでやっていくのかもこれから検討してまいりたいと思ひておりますので、御理解いただきたいと思ひます。</p>
教育長	<p>田原中学校に野田中学校が来るときに、私は、田原中学校の校長でした。</p> <p>野田の校区を迎え入れるについて、気持ちよく、歓迎の意味を込めてやれることはないかと思ひて、田原中学校のげた箱が非常に古く、足の大きい子の靴が入らないので、野田の子たちが来るときに、このままでは気持ちよく入っていけないのではないかと、教育委員会へ田原中学校のげた箱の更新を依頼しましたが却下されました。私が教育長になってから、げた箱だけ更新してもらい、何とか野田の子を迎え入れることができました。</p> <p>野田中学校が田原中学校へ来るときには、先ほども言ったように、1年少しでいろいろなことをやってきました。私も渦の中へ入ってやってきましたので、明言はできませんが、できるだけ枠を超え、それぞれの声に寄り添いながら、やれる範囲がありますので、その辺のことは重々承知しているつもりです。いろいろな声を出していただいて、調整していきたいと思ひます。どこまでできるかわかりませんが、こちらでも限りある中で、いろいろやっていかなければいけませんので、お互いに意見交換の中で歩みよって、できるだけいいものをつくっていきたくと、こういうように頑張りたいと思ひます。</p>
委員長	<p>施設などのお金のかかるものは教育委員会でしっかり予算をとれるように頑張ってもらおう。あと、また細かい、交流事業もかなり行われていくと思うので、予算措置をして、いろいろサポートしてほしいと思うので、よろしくお願ひします。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
委員	<p>先ほど教育長さんからもお話があつたのですが、地震・津波の件。これは、一般の保護者からも、やはりこちらのほうからいろいろ意見が出まして、前の説明会のときにも、大事な子どもを預けるのだからしっかり対策を練ってほしい。ハザードマップでは、安全だと出ていますけれども、それを当てにするのではなくて、きちんと避難のこと、建物の耐震化もしっかりと考えてほしい。</p>
事務局	<p>平成28年3月まで消防長をやっておりました。伊良湖岬校区説明会のときにもそういうお話が出ていました。建物の耐震化については、全小中学校は済んでいますので、その辺は問題ないと思ひます。それから、津波については、防災マップに浸水区域が水色で塗ってあって、一部分、どのくらいの深さになるのかという形で、小さく浸水区域の図面があります。</p>

	<p>福江中学校の場所については、浸水区域には入っておりません。これは、国が最大クラスを見込んで、マグニチュード9.0という形で調査をした結果です。伊良湖岬中学校区だけの話ではなくて、通学区域の中、通学時における地震や津波警報が発表された際には、各学校において、どういう避難をするのか、行動をとってもらえるのかということも、各学校で子どもたちに対応などを情報提供していただいて、あるいは、避難マニュアル等もあろうかと思しますので、学校の行う訓練をしっかりと踏まえて行動をとっていただければと思っています。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ほかにいいですか。</p>
委員	<p>平成25年、平成26年、平成27年と、もともと渥美8校区としては、新しい中学校を1校つくることに関して賛成と、もしも福江中学校を拡充できるなら福江中学校でということで、最初からみんなでまとまって動いてきている。PTAの今の役員の方々は知らないと思うけれども、校区自体は、あくまでも渥美地区は福江中学校一つでもよし、新しい中学校を1カ所つくる。そこに当然だけれども泉も来てもらって、渥美が全部一つの中学校になるというのが発端で、もともとの意見としては、渥美8校区はそれで動いてきた。これは全体の構想で動いてきている。教育長もわかっていると思う。新しい中学校をつくるには何十億円というお金が要る。当然場所もない。私は、渥美が本当は一丸となって、全部が一つのところで、1中学校でいけたらいいというのは、今でも自分の中では思っています。</p> <p>この前、泉中学校は赤羽根中学校へ統合と出ていました。今、この形で動いているものをひっくり返すということは無理だと思う。ただし、伊良湖、堀切、和地の3地域が福江中学校に来てくれるということで、私は、心の中は喜んでいますが、泉中学校が赤羽根中学校へ統合するということは、私は自分としては100%納得しているわけではありません。</p> <p>私はもともと亀山小学校という一番小さな小学校を抱えていて、アンケート問題、合併問題、小学校再編など、大変気になって、いつ尻に火がつくかというくらいの考え方で、みんなの学校再編の資料を全部開いて、いろいろ勉強させてもらったのだけれども、本当の意見は、渥美地区全部が中学校1カ所であるというのが今でも私の意見です。ただし、これは予算的にも新しい中学校、新しい小学校をつくれれば莫大なお金が必要なので、そちらのほうからいくと、考え方としては固辞するしかないというのが本当の意見です。</p> <p>ですけれども、今ここに大根部長と教育長がいるので言いたいを言っています。もう福江中学校を新しく作りかえればいいと思います。</p> <p>私はもともと、温水プールをつくれ、屋内テニス場をつくれと、言いたいことを言ってきたけれども、福江中学校には、駐車場もあるし、そうした設備をつくって拡充するには、まことにいい条件だと思う。</p> <p>あとは、先ほど部長が言ったけれども、私は子どものために税金を使うなら、みんな納得するのではないかなと思っています。そこに使う銭は無駄ではないはず。それに対する協力なら惜しみません。</p>

教育長	お気持ちはしっかりと受けとめさせていただきます。
委員	なるべく子どもには重点的に幾らでも使ってください。
委員長	少し一つ思うことが、先ほど各部長を頼んだのですけれども、部会には事務局も参加してもらえるのですね。
事務局	はい。
委員長	その辺はまたしっかりとよろしくお願いします。 その他、ほかに御意見ございませんか。
委員	実は中学校の都合で、平成29年度の新入生の準備にあたって、伊良湖岬中学校の入学説明会前、12月10日に伊良湖岬小学校PTA役員に部活動や体操服の案について説明する機会をつくらせていただきました。その件です。もう既に、久瀬先生のほうから、やらせていただきたいという意見がありました。
委員	部活動は学校だけでは決められません。愛知県中小学校体育連盟田原支所というものがあるものですから、そこに案を持って行って、承認をしてもらうということがあります。この会を待ってと思っていたのですが、遅くなってしまうものですから、いろいろと考えさせてもらって、次回の統合準備委員会で案を出させていただいて、そこで決まったことを田原市長のほうにまた持っていきたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	そのほかございませんか。
事務局	この統合準備委員会の結果について、おたよりを作成して皆さんにお配りしたいと思しますので、よろしく願いいたします。
委員長	ほかにごございませんか。 きょうは本当にありがとうございました。 ないようですので、本日の協議事項は全て終了しました。 次回開催日は、1月24日火曜日、午後7時から、この場所で開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。 以上をもちまして、第1回伊良湖岬中学校統合準備委員会を終了します。 ありがとうございました。